

図書館ゆうびん YA向け

2022年 秋号



紅葉がきれいな季節になりました。こんにちは、図書館です。

毎年 10/27～11/9 は読書週間です。相生市立図書館でも読書の秋は行事が盛りだくさん。新しいサービスも始まります。学生さんたちに活躍してもらい、インターンシップやトライやるウィークもありますよ。



秋の図書館NEWS

フォローしてね!

Instagramはじめました!

図書館のフレッシュな情報をお届けします。
相生市立図書館 Instagram 公式アカウント
ユーザーネーム: aioicitylibrary



★フォロワー獲得大作戦イベント★

インスタ開始を記念して、図書館のインスタをフォローしてくれた中高生にハロウィンのお菓子をプレゼント!

期 間：令和4年10月22日(土)～11/20(日)

対 象：Instagramのアカウントを持っている中学生・高校生
図書館の利用登録をしていなくてもOK!

方 法：相生市立図書館のインスタをフォローした
スマホの画面をスタッフに見せるだけ!です。



フリーWi-Fi使えます!

図書館1階、2階の学習室、思索の広場ではフリーWi-Fiが使えます。

- ①スマホの設定画面から「'frespot' =SecurityPassword (AES)」を選択
- ②パスワード「frespot」を入力、接続する
- ③メールアドレスやSNSアカウントから登録できます!



Interview with a teacher !

先生へのインタビュー第3回目は、双葉中学校で理科を担当されている
上田先生です。バスケットボール部の顧問をされています。(2022年8月現在)

Q1 どんな中学生・高校生でしたか？

A1 交友関係が広く、真面目な子もヤンチャな子も
いろんなタイプの友だちがいました。中学、高校では
器械体操部に入っていました。学校は好きでしたが、
高校生になると勉強に身が入らず、大学を受験するも
志望校に合格せず、浪人しました。そこからは寝る
時間以外はすべて勉強という一年を経て、香川大学
農業土木科に進学しました。



Q2 当時の恋愛について教えてください。

A2 中学生の時は女の子の友だちもいましたが、付き合うような恋愛関係になるような子はい
ませんでした。高校に入ってから同級生の女の子と知り合い、大学では地元に残った彼女と遠距
離恋愛をしていました。携帯電話もなく、下宿先には固定電話もなかったため、やりとりはほぼ
手紙。大学ではバスケットボール部に入っていて、授業の後は部活、部活の後はアルバイト…、
と忙しかったため、彼女と会えるのは、お盆とお正月だけでした。そんな関係を4年続け、大学
卒業後に地元に戻り、26歳の時に結婚しました。

Q3 好きだった本やマンガはありますか？

A3 小さい頃からマンガが好きで、『少年ジャンプ』や『少年マガジン』をよく読んでいま
した。歳をとって老眼が始まり、読むのが苦痛になってからは読まなくなりましたが、大学生の時
は映画『セーラー服と機関銃』などの原作者**赤川次郎さん**にはまり、小説を読みまくっていま
した。**森村誠一さん**の『人間の証明』も映画化されており、映画を観てから小説を読み返すことも
ありました。

Q4 中学・高校生の時にやり残したことや、当時に戻れたらやりたいことはありますか？

A4 高校生の時、真面目に勉強しなかったことは後悔しています。浪人生の一年間は勉強漬け
の毎日でしたが、そこで実感したのは、**高校の3年間こつこつ努力し続けた人にはかなわない**
ということでした。でもその挫折は教師として教える側に立つ人間としては、良い経験になったの
かもしれません。また大学では経験者ばかりのチームで初めてバスケットに挑戦したので、ベンチに
いる人の気持ちがよくわかります。部活動の指導では試合に出る生徒には「試合に出られない選
手の分まで頑張りなさい」と伝えています。



上田先生、楽しいお話をありがとうございました！

先生のおすすめの本はYAコーナーに展示しています。ぜひ借りてみてください。

コレがわたしのフツウです。

個性的？変わってる？自分と違う、みんなと違う。でも普通って何だろう。
あなたの普通はみんなの普通？ひとりひとりの「普通」について考える本。



『エヴリデイ』 デイヴィッド レヴィサン//作 三辺 律子//訳 小峰書店 93-レ



目覚めるとすぐに、自分が誰か突き止めなければいけない。男か女か。白人か黒人か。主人公は肉体を持たない意識のみの存在「A」。毎朝アメリカのメリーランド州に住む 16 歳の誰かの体で目覚める。体を借りるのは一日だけ。眠って起きれば別の人物で、同じ人物に二度「入る」ことはない。

A は宿主の人生を変えるような行動はとらないよう気を付けている。たった一日の人間関係の中で生きてきた。



しかしジャスティンとして目覚めた日、A はジャスティンの彼女リアノンに恋をする。そして別の人物に宿ってからも、彼女と接触してしまう。A の行動により、リアノンや彼らに関わる人々の運命が少しずつ変わっていく。A の不思議な初恋を描いた物語。続編『サムデイ』もあります。

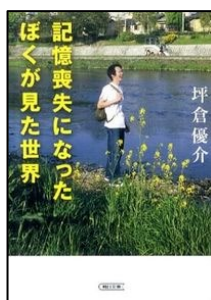
『ぼくの命は言葉とともにある』福島 智//著 致知出版社 916-フ



神戸市で生まれ育った著者は、原因不明の病で3歳で右目、9歳で左目を失明します。しかし生来の楽道家で、大好きな音楽やスポーツ、落語があれば生きていけると思ったそうです。しかしその後14歳で右耳、18歳で左耳の聴覚を失います。著者はその時、宇宙に放り出されたような、不安と恐怖に飲み込まれました。絶望する彼に、盲学校の友人は「しさくは きみのために ある」という言葉を贈ります。てのひらに指先で書かれたその言葉は、これからの生き方に悩む心にあかりを灯しました。

「宇宙に放り出された」というのは、光も音もないだけでなく、他者との繋がりがなくなり、たった一人世界から離れ、消えてしまいそうなところもとない感覚だといいます。著者が他者とコミュニケーションを取るための方法を考え出したのは、友だちや家族でした。読む人の心を開放する力強い一冊です。

『記憶喪失になったぼくが見た世界』坪倉 優介//著 朝日新聞出版 916-ツ



主人公が記憶喪失になった！という展開は、物語やマンガの中ではめずらしくない。でも実際に記憶喪失になった人に会ったことがあるだろうか？

坪倉さんは大学からの帰路で大きな交通事故に遭う。懸命な治療の末一命をとりとめるが、意識が戻った時、記憶はリセットされていた。自分のことも家族のことも全くわからない。それだけではなく、ものの名前や言葉の意味、生活、行動に至るまで人間的な動作の全てを忘れ去ってしまっていた。

2本の棒(箸)で白いピカピカ(お米)をすくう、口に入れる、入れたら噛む、噛んだら飲み込む。母親の動作を真似することで初めて食事ができたという。「おいしい？」と聞かれても「おいしい」が、ということかわからない。「おかず」はその時によっていろんな形や味をしている。満腹がわからず、出されたものを食べ続け気分が悪くなる…。食事をするだけでも新鮮すぎる驚きに満ちている。昔の自分を取り戻すことに必死だった彼は、いつしか「新しい自分」9を生き始める。驚きと感動のノンフィクション。

『ぼくが13人の人生を生きるには身体がたりない。』haru//著 河出書房新社 916-ハ



haruさんの中には13の人格が存在する。解離性同一性障害である。ももとの身体を持ち主を主人格、その他の人格を交替人格という。主人格は23歳の男性だが、12人の交替人格の中には女の子もいるし、幼児もいる。主人格の子どもの頃から存在する人格もいれば、最近生まれた人格もいる。交替人格同士は頭の中で会話もできるらしい。

本書はharuさんではなく交替人格の方々が、haruさんのことや自分のこと、解離性同一性障害の日常を文章にしている。内気で人付き合いに疲れやすいharuさんを、交替人格たちは守り、助けながら生きている。多重人格(解離性同一性障害の俗称)、と聞くと怖いイメージを持つかもしれないが、haruさんの周りはやさしさであふれている。こんなツウもおもしろい。

秋の行事紹介

10/18(火)～20(木) 上郡高等学校 インターンシップ

10/27(木)～ 本の福袋 …中身がわからないよう袋詰めした本を貸出します。

大人向け、YA向けの2種類があります。

11/3(木・祝) 大人のためのおはなし会 …中高生も参加できます。

11/6(日) 工作ライブラリー～手作り望遠鏡で月食を見よう～ …中高生も参加できます。

11/8(火)～11/12(土) 那波中学校・双葉中学校・矢野川中学校 トライやる・ウィーク

11/9(水)～11/11(金) 兵庫県立大学附属中学校 トライやる・ウィーク

